

第2回「放射性廃棄物の減容化に向けたガラス固化技術の 基盤研究事業」中間評価検討会（書面審議）

議 事 要 旨

1. 日 時 令和4年12月19日（月）～23日（金）
2. 議決日 令和4年12月23日（金）
3. 審議者
（検討会委員）[敬称略・五十音順、※は座長]
※澁谷 進 公益財団法人 原子力バックエンド推進センター
フェロー
杉山 一弥 一般社団法人原子力産業協会 地域交流部 調査役
関 哲朗 文教大学 情報学部 教授
山村 朝雄 京都大学 複合原子力科学研究所 教授
渡部 隆俊 原子力発電環境整備機構 技術部 部長
4. 配布資料
資料1 第1回評価検討会議事録（案）
資料2 技術評価報告書（案）
5. 回答結果
議題1 第1回評価検討会議事録（案）について
集計結果 承認5名（回答者 5名）

議題2 技術評価報告書（案）について
集計結果 承認4名、条件付承認1名（回答者 5名）
6. 議事概要
（1）第1回評価検討会議事録の確認について
「資料1 第1回評価検討会議事録（案）」の確認を行い、上記書面審議
をもって了承された。

（2）技術評価報告書（案）について

「資料2 技術評価報告書(案)」の確認を行い、承認4名、条件付承認が1名であった。条件付承認については、下記のコメントを踏まえて資料を修正することが条件であったため、コメントを踏まえて報告書案を修正することとした。

○(D委員) 評点結果について、4. 事業アウトカムについて『また、Bについては、ウラン廃棄物の分離・回収技術は重要であるが、技術的課題は「回収率、廃棄物発生量、コスト」であり、この部分に対してどのような指標・目標が設定されているかが不明確である。』と記載したが、これらの点についてゲル化抽出の優位性が担保されていることを知るに至ったため、「2」に修正をお願いしたい。また、自分のコメントについて、以下の修文をお願いしたい。

- p. 46、4行目：「対応にあるべきではないか。」→「対応にあると思われる。」
- p. 48、3行目：「必要。」→「必要と思われる。」、この直後の改行を削除。
- p. 48、9行目：「一般性のもとで評価されること、」→削除
- p. 50、10行目：「知財運営委員会・・・」の前の改行を削除。10-11行目：「当該委員会が実質的な運営となっているか、内容を記載されたい。」→「当該委員会が実質的な運営となっていることを示せば良い。」
- p. 52、3行目「Aについて、」→「Aについては、」として、2行目の後の改行を削除。5行目：「必要である。」→「あると良い。」としてこの直後の改行を削除。6行目：「Bについて、」→「Bについては、」とし、この直前の改行を削除。
- p. 53、1行目「(すでに実施済みの?)」→削除、2行目「(変化しない?)」→削除
- p. 56、1行目、改行を削除し、2行目をそのまま続ける。
- p. 58、1行目、「開始時期も、」→削除、「発展段階も」→「発展段階が」、6行目：「意識が低い。」→「意識が低いことが気になる。」としてその直後の改行を削除、8行目の改行を削除。

また、誤記について以下のコメントがあった。

- p. 12, 17 体制表と体制図：大河原化工機、ATKINS/VSL は表・図の両方には記載なし。
- p. 48 下から7行目：「…連携してすくべき…」→「…連携していく

べき…」の誤記。

これを受けて、p. 12 の体制表にあわせて p. 17 の体制図を修正、p. 48 下から 7 行目を「…連携していくべき…」と修正した。

追加的な修正については座長一任で行うこととされた。

(3) その他

本評価検討会で了承された技術評価報告書（案）は、産業構造審議会産業技術環境分科会研究開発・イノベーション小委員会評価ワーキンググループで審議され、了承を得た後、経済産業省ホームページで公開されることとなった。

以上

お問合せ先

資源エネルギー庁 電力・ガス事業部

原子力立地・核燃料サイクル産業課

電話：03-3501-6291